

令和5年度 第3回西尾市地域自立支援協議会 会議録

日 時：令和6年3月15日(金) 午後2時～午後3時30分

場 所：西尾市役所 22AB会議室

<参加者>

委 員：15名(代理出席有り)、欠席3名

部会長：中島地域支援部会長、藤田子ども部会長、福岡就労支援部会長、岡田権利擁護部会長

部会事務局：社会福祉協議会 奥津、岡田

相談支援センターあると 伊澤、松園

めだか工房 福井、岡本

福祉課：岩瀬課長、杉浦課長補佐、柵木課長補佐、板倉主任主査、原田(昌)主査、原田(英)主査

合計 31名

1. あいさつ 磯貝会長

出席の礼。暖かくなってきた。障害福祉サービス等報酬改定について(3年ごとの改定)。災害時の横の連携や準備の重要性について。

2. 議 題 会議の取り回し：磯貝会長

(1) 令和5年度担当者部会の活動報告について 説明：各部会長

・資料から一部を抜粋して説明。

<質問：瀧川委員>

Q. グループホームの紹介を福祉まつりで行った時に質問した人はどのような人か。

A. (地域支援部会) 質問者に聞き取りしていないため、具体的には把握していない。

<意見：芳賀委員>

作成したグループホームのパンフレットを見たが、大体どんなものかわかるので良かった。せっかく作ったので広範囲で配布できると良い。圧倒的に知的障害のグループホームが多い。グループホームが知らないうちにできている。グループホームを評価することは難しいかと思う。グループホームを市が管理できるようになると良い。

<質問：芳賀委員>

Q. グループホームの許認可は県がしているが、今後、市も関わる可能性があるのか。

A. (福祉課) 県が許認可の決定をする時に市へ意見を求めることが今後あると思う。具体的な話はまだない。

<意見：磯貝会長>

グループホームの設置許認可の基準をもっとしっかりとしてほしいと県に申し出たが、書類が整

っておれば拒否できないと県からの回答があった。グループホームの経営実態について利益をあげている大半は株式会社（利益を目的としている）である。

<質問：田中委員>

Q. 冊子を作成した、その後について

A. (社協)グループホームの詳細と問題点については、今のところ周知活動を行うということで、精査することは考えていないが、また検討していきたい。

<質問：田中委員>

Q. 地域の障害福祉サービスの啓発活動や障害者の地域での暮らし方を検討していくということだが、具体的に何をしていくか決まっているのか。

A. (社協)来年度のワーキングチームなどで検討していく予定であるため、詳細はまだ決まっていない。

Q. せっかくグループホームの情報を出してくれたからグループホームを組織化（検討する場）できないか。

A. (福祉課)数年前に、グループホーム連絡協議会のようなものを開催したことはある。また、意見交換会のようなものを実施することを事務局と検討していく。

<質問：小嶋委員>

Q. 地域生活支援拠点の今後の取り組みについて（機能強化）

A. どの事業所が地域生活支援拠点であるという指定は行っていない。今後検討していく。

<質問：瀧川委員>

Q. 西尾市の障害者雇用率はどれくらい不足しているのか。就労支援センターについて西尾市とみよし市の課題は同じなのか。

A. (ハローワーク)R5. 6. 1現在147社のうち未達成66社。現在、指導などしているので10社くらい増えていると思われる。雇用率は1.96。

A. (就労支援部会)課題については、まだ、詰めれていない。今後、部会だけでなく、行政と協議していく。

<意見：芳賀委員>

就労支援センターについてとりあげていただいてうれしく思う。西尾市の就労については10年前とかなり変わってきている（B型が増えたり、A型ができた）。就労支援センターは人件費、建物など予算の問題があるが、困ったことの相談場所は必要である。市として考えてほしい。

<意見：田中委員>

グループホームがたくさんできて、就労の問題も当事者にとって大きくなってきている。そのため、就労支援センターについて部会でしっかり検討してほしいし、ある程度見通しを出してほしい。

委員全員からの拍手があり承認。

(2) 地域課題について 説明：原田英主査

- ・地域課題についてまとめた資料を説明。
- ・プロジェクトチームの結成

目的は障害福祉サービス事業所の紹介、研修の開催について。来年度の開催に向け、開催方法、内容などを検討する場としてプロジェクトチームを結成する。プロジェクトチームの委員を探している。委員の依頼があったら、ご協力いただきたい。

委員全員からの拍手があり承認。

(3) 令和6年度西尾市地域自立支援協議会の体制について 説明：原田英主査

- ・資料をもとに説明。

委員全員からの拍手があり承認。

(4) その他

<質問：芳賀委員>

Q. グループホームの費用などをまとめた資料に問題点など載せるのは難しいと思うのでこのままで良いが、今後、パンフレットを配布することはどのように考えているか。

A. (社協) 今後のことは、福祉課と協議して検討していく。

<質問：小嶋委員>

Q. 障害支援区分認定について、地域で認定に差があるように思うがどうなのか。

A. (福祉課) 区分認定は全国共通であるため、区分認定については差が出ないほうが良いと考えている。近隣市とのすり合わせていくことなど検討したい。

<意見：磯貝会長>

福祉避難所について、災害時に市内の福祉避難所がどれくらい機能するか心配である。能登地震(輪島市)では8つのうち1つしか機能していなかった。事前に準備や確認をしておいてほしい。危機管理課へ伝えておいてほしい。

<案内：瀧川委員>

- ・チラシをもとに、手をつなぐ育成会岡崎・豊田ブロック研修会の案内。

<福祉課長>

・協議会の出席の礼。部会ではいろいろと調査、検討していただいた。地域支援部会が作成したグループホームの冊子、育成会のグループホームの研修会の開催など大変有意義であった。障害者就職説明会を開催。8社が参加。福祉避難所(高齢者施設)の訓練を実施し、今後活かして

いきたい。福祉計画の取りまとめが終わった。協力していただいた関係者の方々ありがとうございます。

(事務局 原田主査)

- ・長時間の協議の礼。来年度は任期2年目。委員の交代がある場合は福祉課へ連絡してほしい。

会議終了